



四日市大学留学生新聞

編集部 梁青（経済3年） 周大偉（環境情報3年） 周昱（経営2年） 邵晶（経営2年） チャン
ティ ツуй（経営2年） シュレスタ プラカシュ（環境情報2年） ダンゴル ショバ（環境情報2年）

留学生新入生歓迎交流会

今年の留学生歓迎会も盛況のうちに終了しました。主役の新入生は、この歓迎会についてどんな意見を持っているか、本日、李龍さんと孟凡誠さんに聞いてみました。



趙：李さん、孟さん、こんにちは。

李、孟：こんにちは。

趙：入学おめでとうございます。先輩として本当にうれいす。

李、孟：ありがとうございます。この学校に入学させていただいて本当に感謝します。入学して間もないですが、先生と先輩一緒にあちこち行ったり、遊んだりして本当に楽しかったです。

趙：良かったです。新入生が早くこの学校に慣れるた

めにいろいろ努力しています。それが、歓迎会の目的でもあります。早速ですが歓迎会について、あなた達の感想をお聞かせください。

李、孟：はい、お願いします。

趙：学校があなた達のために歓迎会を行いました、どう思いましたか。

李：本当に嬉しい驚きでした。歓迎会を行うと聞いて、最初はただ新入生だけ来ると思いましたが、先輩たち、支援センターの先生、また学長までもご参加いただき、とてもうれしかったです。

趙：そうですね。毎回学長先生のご参加をいただき、本当に素晴らしいと思います。今回の歓迎会のゲームや内容などに意見がありますか。

孟：実はゲームがちょっとつまらなかったと思いましたが、全体的なイメージとしてはすごく楽しかったと思います。

趙：歓迎会を通して、新しい友達ができたり、もっと深く学校のことを理解できましたか。

孟：はい、同級の新しい友達だけではなく、何人もの先輩とも知り合いになれました。先生をこれまで以上に身近に感じる事ができる気がしています。学内施設などについても、詳しく知っておられました。

趙：本当によかったです。歓迎会は、新入生がいろいろ活動して、早く大学の生活に溶け込んで安心して勉強できるようにするもの。あなたがたは、これからの4年間をどのように送りますか。

李：様々な学内、学外活動、学校旅行で友達と仲良くして、さまざまな人に会って、異文化にふれて、より視野を広げ、多くの知識を身につけて、悔いのない大学生活を送りたいと思います。

趙：はい、分かりました、あなた達が大学生活を有意義で楽しく過ごしてくださることを祈ります。今日はありがとうございました。今後も何か困ったことがあったら、遠慮なく相談してください。

李、孟：はい、ぜひお願いします。ありがとうございました。

経営学科1年生 孟凡誠 李龍

経営学科2年生 孫洪芳 趙丹

新入生合宿

2012年4月4日、四日市大学の新生たちと先生一緒に大学を出発して、湯の山にバスで行った。大学に入学して以来、他の国の人たちと初めて一緒に行ったからちょっと緊張したが、とても楽しかった。

みんな一緒にホテルに入り、説明会の会場に集まった。先生から、自分の授業科目について説明を聞いた。説明が終わった後、6人のグループに分かれて他の新生の皆と先輩と一緒にゲームをした。他の国の友達もできたのでとても嬉しかった。先輩が新生を指導しながら、皆で各国の挨拶を勉強したり、歌を歌ったりした。それが終わってから、一緒に晩御飯を食べた。ご飯を食べた後、皆がもう一度集まって授業科目の内容の詳しい説明を受けた。その後、友達と一緒に温泉に入った。次の日も早く起きなければならないから、部屋に戻ってすぐ寝た。朝起きて朝ご飯を食べて自分たちが勉強したい科目を決めて大学に戻った。友達と先輩から良いアドバイスをもらい、もっと頑張ってみようと思っている。

合宿のおかげで友達が大勢できて、日本語も練習できた。とてもありがたい合宿だと思う。

経済学科 1年生 ゾシ マノジ



新生ガイダンスが4月4日に実施され、私にとっては日本で初めての大学での合宿でした。留学生の私にとっては、「ゴールデン」だと言える機会だったと思います。

合宿で大学のガイダンスがあり、大学生活、科目の選択方法、単位の取り方についてを説明を聞きました。合宿の目的は、自分が興味がある科目を選択することでしたが、少し悩みもあり、実際に大学生活している先輩達に大学生活、科目選択方法、大学についての様々なことを聞くことができ良かったと思います。それだけでなく、今までの留学生活ではなかなか日本人の友達ができなかった私が、合宿で沢山の日本人の仲間と仲良くできて、とても嬉しいです。入学する前に本当に心配しましたが、今はだんだん慣れ、楽しいと感じています。

これからも、もちろん、大変なことがあるでしょうが、自分の夢、日系企業について学ぶ目標は忘れず、大学の先生方、留学生支援センターの方、先輩達、友達や地域の人々と仲良くしていきたいと思っています。人間として人生のすべてを、楽しく、生き生きとして送っていききたいと思っています。

経営学科1年生 ゴタメ サルキ ハリ サラン

新入生合宿

4月4日に、新入生の合宿がありました。合宿は私が日本に来てから初めてです。留学生だけでなく、日本人の学生も行き、私はとてもドキドキしていました。新しい友達が作れるかどうか心配でした。一緒に泊まるとなると、習慣等も心配でした。

1日目は、着いてから、みんなで食事をしました。先生方の隣だったので、すごく緊張しながら食べました。先生方はとてもやさしく、話しかけてくれました。食事の後はグループに別れ、ゲームをしました。私のグループは女性が私一人だったので、少し残念でした。先輩達が一部屋一部屋まわって、ゲームをしてくれて、とても楽しかったです。夜は温泉に入り、ゆっくりできました。初めての温泉は気持ちよかったです。2日目はグループで散歩し、その後大学に帰りました。

合宿で、日本人の友達は作れませんでした。とても楽しい経験をしたと思っています。これから、もっとたくさんの活動に参加し、みんなと楽しく過ごしたいと思います。

環境情報学科 1年生 孫潔



私は、今回の新入生合宿に参加出来て本当によかったです。

今回の合宿は4月4日と5日、菰野町の湯の山温泉にあるホテルで行われました。初日は、みんなで目的地に到着してから、まず学部長と先生たちの挨拶、またこれからの授業や学生生活などに関する様々な指導や履修相談、ゼミの顔合わせなどがあり、「初対面の緊張感」がだんだん和らぎました。そして、先輩たちと一緒にゲームをして、仲良くなりました。また、うちのゼミは二等賞をもらいました。このようなゲームを交えた親睦会のおかげで、「協力すべきだ」という強い気持ちを感じることができました。同級生の女子はわずか3人だが、夜、夕食と入浴の後、散歩したり、しゃべったりしているうちに、これから大学の授業が楽しみになってきました。5日、朝食が終わった後、ロビーで集合して帰りました。

短い新入生合宿だけれど、とても楽しかったです。私自身、あらゆる面で、成長の場になったと思います。未知の生活、複雑な人間関係。この機会を与えてくださった四日市大学と先生の方々に感謝します。

総合政策学科 1年生 孫丹

奨学金

2012年1月17日、「貢献顕著な私費外国人留学生奨学金」授与式を実施し、宗村南男学長から受賞者に授与証書と奨学金が手渡されました。



学部	学科	学年	氏名	出身国
経済	経済	2年	キョウ セイキン 姜 世勤	中国
経済	経営	2年	メアス ヴィサル MEAS VISAL	カンボジア
経済	経営	1年	ショウ ショウ 邵 晶	中国
総合政策	総合政策	1年	オウ シ 王 梓	中国
総合政策	総合政策	1年	ネイ ミョー ティハ ハン NAY MYO THIHA HAN	ミャンマー

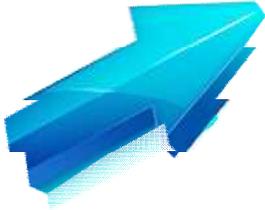
日本人から見た留学生

私は留学生を日々見ている、全ての事において留学生の方々には日本人の良いお手本になる非常に素晴らしい存在だと思います。なぜなら、私はそこまで勉強が好きではなく、日本の大学に通っており、それも県外ではなく自宅から地元の大学に通っています。それに対し留学生の方々には、国外である日本の三重県にまでわざわざ勉強をしに留学しているからです。

勉強だけではなく、バイトも学校が終わってから深夜まで。休日は朝から晩までバイトと非常に忙しい日々を送っており、その過酷なスケジュールを聞いたたびに私は留学生に対し「バイトもせずに、部活動をしたり遊んでばかりいてごめんなさい」と謝りたくなります。

そんな怠けた学生をしている私には決して真似する事はできませんが、留学生の方々には日本人の良いお手本になる非常に素晴らしい存在だと思っています。

日本語先生のコメント



日本語能力を向上させるために！

日本語担当教員
加納 光

総合的な日本語の能力を今以上に上達させたいと考えている留学生は少なくないと思います。そう考えているのであれば、次のことを実践してみてください。一、毎日欠かさず日本語の新聞記事（短いものでよい）を大声で朗読する。その際、読み方や意味のわからない単語は辞書で調べ、それをノートに書いて覚える。新聞記事から今日の世界や日本事情を垣間見ながら、日本語の「読み」、「書き」の能力を向上させることができます。二、数分間のテレビやラジオニュースを書き取る。難しい専門用語も出てきますがとにかく書き取る。録音機材があればニュースを録音し、それを書き取る方法でもよいと思います。これは「聞き取り」能力を向上させる最良の方法です。毎日、欠かさずこの二つを実践すれば、日本語の能力は確実に向上します。継続は力なり。みなさんの取り組みに期待します。

まず「ことば」から

日本語担当教員
安田 由紀子

皆さんが初めて日本で生活を始めた時の気持ちを、ずっと忘れないでほしいと思います。生活するための必要最低限のことばを一生懸命覚えたあの懐かしい時間のことです。

そんな時間が、実は今も続けていることを皆さんは知っているでしょうか。生活するにあたってのことばと同様に、授業を受けるにあたってのことばをしっていなければ大学生活は成り立ちません。勉強したことは必ず将来のあなたを助けるはずですから、「今」を精一杯頑張してほしいと思います。

私たちの生活の中で、学問・人との交流・仕事など、何をするにも全て「ことば」から始まり「ことば」に助けられています。今後の一層の皆さんの惜しまぬ努力に期待します。一緒に頑張りましょう。

留学生新聞紹介文

日本語担当教員
友原 嘉彦

皆さん、初めまして。4月から四日市大学総合政策学部の講師になりました友原嘉彦です。1月までは中国吉林省の北華大学で講師をしていました。旅が好きで、中国以外にも西欧、東欧、旧ソ連、近東、北アフリカ、東南アジア、韓国と39ヵ国を訪れました。外国人に日本語を教える仕事もいと日本語教師養成プログラムを修了し、実際に中国で教えていましたが、本来の専門はやはり旅好きなので、観光地理学です。観光の講義も持っていますので、興味のある方はぜひご参加ください。よろしくお願ひします。

ETV

「ETV よっかだい」では、留学生と日本人学生との議論を中心とした「多文化共生社会を考える」プログラムを取材し、今年2月に放送して頂きました。これは、四日市大学の教員と学生の活動を中心に制作される番組です。

「ETV よっかだい」の活動について、参加者の辻浩明さんにご紹介いただきました。

.....
四日市のケーブルテレビ局CTYではほぼ毎日約30分放映している教養番組があります。CTYと四日市大学の共同制作という形で昨年の10月に放送を開始し、地域の課題や疑問を取り上げ、毎月テーマを変えて学生の視点からお送りしています。

番組を作り始めた当時はカメラの使い方や番組の編集機材の使い方、企画の立て方などメディアを専攻としていない私にとって新鮮なことから戸惑うこともありましたが、しかし、CTYの方にアドバイスを頂いて様々な番組を作る回数を重ねるうちにだんだん要領をつかんで面白くなってきました。そのおかげで学生生活が忙しくなりましたが、今では世の中の課題を伝える重要な役目を与えられたと感じています。テレビの題材を作るという一生にあるかないかの機会に恵まれ感謝をしています。

これからも地域に住む人々に、幅広いジャンルの問題点に焦点を当てできるだけ分かり易い“伝わる”番組作りを心がけていきたいと思っています。

環境情報学科2年生 辻浩明

日本語能力試験 1 級試験頻出単語

道路の様子

- a. 十字路 (じゅうじろ) 四つ角 (よつかど)
- b. T字路 (じろ)
- c. Y字路
- d. 突 (つ) き当 (あ) たり
- e. 二股 (ふたまた) に分 (わ) かれている
- f. バス通り (どおり) 大通り (おおどおり)
- g. 路地 (ろじ)

路上の目印:

- a. 信号 (しんごう)
- b. 交叉点 (こうさてん)
- c. 歩道橋 (ほどうきょう)
- d. 横断歩道 (おうだんほどう)
- e. 踏 (ふ) み切 (き) り
- f. バス停 (てい)

顔の型:

丸顔 (まるがお) 面長 (おもなが) 四角
い顔 (しかくいがお)

体型:

大柄 (おおがら)・小柄 (こがら)
すらりとしている ・ ずんぐりしている
ほっそりしている ・ がっしりしている

歩き方

- a. 駅 (えき) の改札口 (かいさつぐち) を出て、すぐ右 (みぎ) に曲 (ま) がり、線路 (せんろ) に沿 (そ) ってしばらく行くと、バス通 (どお) りに出 (で) ます。
- b. 駅前 (えきまえ) の横断歩道を渡 (わた) って、左 (ひだり) に行 (い) き 2 つ目の角 (かど) を右 (みぎ) に入 (はい) ります。

位置関係:

- a. 病院 (びょういん) は、大通りに面していません。正面 (しょうめん) にはスーパーがあり、斜 (なな) め前 (まえ) には学校 (がっこう) があります。
- b. 角 (かど) から 3 軒目 (げんめ) が田中さんのうちです。
- c. 銀行 (ぎんこう) は、スーパーの手前 (てまえ) にあります。
- d. 駅 (えき) は、川 (かわ) の向 (む) こう側にあります。

英語合宿

四日市大学には、ESL という施設があることを、皆さん知っていますか。たぶん多くの留学生は初めて ESL と聞いた時、ESL って、どういう意味が分からないかもしれません。ESL (English as a Second Language) とは、英語を母国語としない生徒が英語圏で生活するため、あるいは大学へ進学するため、または TOEIC、TOEFL 受験の目的のために英語を学ぶためのことです。また、四日市大学の ESL は "English Support Lounge" の略称です。四日市大学 ESL では、毎年年間を通じて各種の英語学習、あるいは英語に対する興味を呼び起こすイベントを行っています。英語が苦手な人でも、気軽に参加できることが一番の魅力です。私は 1 年生と 2 年生の時、ESL の 2 泊 3 日の英語合宿に参加しました。コテージを借りて、大自然の中で英語だけの生活に挑戦することが目的です。しかし、留学生にとっては、英語力を身につけるだけでなく、日本人学生と一緒に行動したり、生活したりすることによって、日本人や日本社会をもっと理解できる絶好のチャンスだと思います。

初めて行く時は、私も不安でいっぱいでした。自分の英語力に自信がなかったのはもちろんですが、周りの日本人学生とちゃんとコミュニケーションを取れるかどうかも心配でした。しかし、実際に行ったら、ホテルに着くまでに、もう既に何人かの日本人学生とネパール、中国の人と友達になりました。3 日間の合宿生活を通じて、みんな学校や学部、年齢、国籍などを忘れて、英語に興味があるという共通点で強く結ばれて、いい友達になりました。

ESL での英語学習では、通常の英語授業と違って、英語が苦手な人が自信を無くすのではなく、どんどん自信を持てるように工夫をしています。また、イベントの参加と退室は全く自由ですから、自分が興味のあるイベントだけ参加しても構いません。

皆さんぜひ参加してください。

総合政策学科 3 年生 李 聖君



お知らせ

留学生のための大学院進学ガイダンス

講師： 名古屋大学大学院留学生専門教育教員 土井 康裕 先生

日時： 2012年6月22日（金） 16：20-17：30

会場： 四日市大学 ADV 教室

留学生進学ガイダンスを実施します。進学希望者は参加してください。

お問い合わせ：四日市大学留学生支援センター

スポーツ交流会

私が四日市大学に入学してからもう2年になりました。本当に早かったです、まだ後2年もありますが、この2年の間に私は大学で色々なことを学びました。大学には勉強だけではなく、クラブ活動に入ったり、スポーツ大会があったり、大学祭があったり、いろいろ楽しい事もあります。

今回、私は大学の留学生スポーツ大会に参加しました。当日、私以外にもたくさんの留学生がいました。私は、最初、少し恥ずかしかったのですが、友達や先生たちが「恥ずかしがらないで、一緒にやろうよ」と誘ってくれました。それで、自信を持って、皆と楽しんで遊ぶことができました。色々なスポーツの種類がありましたが、私は、バドミントンが好きなので、バドミントンをしました。皆、とても楽しい顔で最後までスポーツをしました。

私はとても疲れましたが、本当に楽しかったです。最後に、ドーナツパーティーに皆で集まり、加納先生からの挨拶を聞きました。ドーナツを食べたらすぐに解散時間になりました。楽しく身体を動かし、よく勉強できて、とてもいいことだと思います。参加して本当によかったです。次回も、是非参加したいです。

経営学科2年生 ホアン ティ タオ



Face Book

私は、SNSの使われ方に問題を感じています。

私が主に利用しているSNSは、Facebookです。Facebookでは、子供の頃からの友人やアルバイト先の人、学校の友人などと気づかないうちにつながっています。これは、気軽に友人と連絡を取り合えるなどFacebookのメリットだと思います。しかし、デメリットもたくさんあることは事実です。Facebookの利用者が多いアメリカやヨーロッパでは、Facebookが理由で離婚をする夫婦が増加しています。ネット上で他人を束縛する、つまり「ネット束縛」という言葉を生んだ原因に、SNSは大きく関わっていると考えています。このままでは、人と人の会話で生まれる信頼関係やコミュニケーション能力が低下し、さらに、ネット上で生まれる奇妙な信頼関係、仲間意識のために幅広い人とのつきあい方ができなくなってしまうのではないかと、私は不安です。

アメリカやヨーロッパで利用者が減り、今は日本やインドといった、まだまだ利用者拡大を期待できる国へとFacebookのターゲットが変わりつつあります。アメリカやヨーロッパと同じような状況を作り出さないようにするためにも、私達は今からでもSNSの使い方を見直すべきだと思います。

環境情報学科2年生 ダンゴル ショバ